



オレンジ通信

連合和歌山 有田・御坊日高地域協議会ニュース

連合和歌山
有田・御坊日高地域協議会
〒644-0013
御坊市湯川町丸山 80-2
Tel (0738)23-0300
FAX (0738)23-0400
発行責任者 久堀修二



めざそうワーク・ライフ・バランス社会 私たちの働き方改革宣言

7月15日(土)に

「ワークルール学習

会」を開催しました。若い組合員を中心に42名が参加しました。今年のテーマは「ワーク・ライフ・バランス」です。

講師の森本社会保険労務士から、すでにワーク・ライフ・バランスを実践している先進企業を例にして、「管理職の意識改革」「業務の効率化」「仕事の標準化」「ひとりでガンバルからみんなでガンバルへ(分業協業)」など、わかりやすく説明がありました。



ワーク・ライフ・バランス

社会の実現には、労働組合はもちろん、一人ひとりが仕事に対する意識とスキルを見直し、企業や地域に対して働きかけていくことが必要です。

連合は、少子化対策や子育て支援など個別の課題に対応するだけでなく、生活時間を取り戻すための総合

的な「働き方改革」に取り

組み、ワーク・ライフ・バランス社会の実現をめざしています。特に、生活やライフサイクルに合わせて働き方や労働時間を選択できるよう、税・社会保障制度の見直しや、安心して子どもを生み育てられる社会的基盤づくりなどに力を入れています。

連合がめざすワーク・ライフ・バランス社会は、女性労働者の仕事と育児・介護の両立にとどまりません。男性か女性か、家族的責任を有しているか否か、正規か非正規かを問わず、すべての労働者にとっての仕事と生活のバランスの回復です。



ボウリング大会



ワークルール学習会の後、「親ぼくボウリング大会」をオークワロマンシティ J-Bowl で開催しました。組合員36名が参加し、好プレイ、珍プレイで盛り上がりました。

結果は1ゲームで8ストライクを出した三菱電線労組の上野山さんが2ゲームトータル378点で優勝しました。2位は東燃ゼネラル労組の塩崎さん、3位は関電労組の岡崎さんでした。

～語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で 恒久平和の実現を～

2017 平和行動 in 沖縄



連合は平和で安定した社会の実現を目指し、平和運動に取り組んでいます。本年は「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で 恒久平和の実現を」をテーマとし、6月23日から24日にかけて「2017 平和行動 in 沖縄」を実施しました。



地協から松浦議長とJPL 労組紀央支部の稲田さんが、式典や集会、フィールドワークに参加しました。式典では神津連合会長から「沖縄が抱えている問題は、日本人全体の問題。連合は【在日米軍基地の整理・縮小】と【日米地位協定の抜本的見直し】の取り組みを、今後もつなげていく。」と挨拶しました。松浦議長は「数多くの民間人が戦争の犠牲となり、平和祈念公園内にある、平和の礎、の前で泣き崩れる遺族を見て、息を飲み絶句し言葉になりませんでした。公園内には20万人の犠牲者の名前が刻まれ、名前

の前で三線を奏でる老人の姿、献花し刻まれた名前を指でなぞる遺族。その姿を見る自分はただ一人の傍聴者で、本当の戦争の怖さ悲惨さを肌で感じ、“同じ光景を未来の人が経験しないように、平和の尊さを語り継いで自分にできることを行動しよう”と心に強く感じました。」とレポートしています。稲田さんも「私は戦争がないことが平和だと思っていたが全く違った。戦争を体験した方々、遺族の方々は戦後ずっと心に深い傷を負っている。そして未来に、戦争は恐ろしいもの、戦争はあってはならない、という思いを引き継ごうとしている。私たちはそれを絶やしてはいけません。」と感想を寄せてくれました。

仕事ウォッチング！ 子ども職場体験ツアー



7月29日（土）に「子ども職場体験ツアー」を実施しました。この事業は子どもの時から働くルールを学ぶとともに「働くってどういうこと？」を考える機会になればと企画しました。

南海バスや、紀州鉄道に乗車して御坊の風景を楽

しみ、関西電力御坊発電所では電気のできる仕組みを学びました。そこで働く大人を見て、「何のために働くのか？」「働くルールはどうして必要なのか？」を感じてくれたのでしょうか。

最後は「黒竹の風鈴」づくりをしました。子どもたちは目をキラキラさせながら取り組んでいました。

今回は15名募集のところ5名の参加になりましたが、今後、より参加しやすい行事にしていきます。